

事例番号:300039

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第一部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 40 週 1 日

11:45 陣痛開始のため入院

4) 分娩経過

妊娠 40 週 2 日

1:00 破水

2:49 頃- 胎児心拍数陣痛図にて繰り返す変動一過性徐脈を認める

3:19 頃- 胎児心拍数陣痛図にて高度徐脈および基線細変動の減少を認める

3:22 微弱陣痛、胎児機能不全のため子宮底圧迫法を実施

3:27- 子宮底圧迫法を併用した吸引分娩を 3 回実施

3:32 児娩出せず、胎児機能不全の診断で帝王切開決定

3:50 いきみあり、経膈分娩

胎児付属物所見 胎盤病理組織学検査にて急性絨毛膜羊膜炎 stage III

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:40 週 2 日

(2) 出生時体重:3149g

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 6.768、PCO₂ 97.1mmHg、PO₂ 13.7mmHg、

HCO_3^- 13.2mmol/L、BE -27.1mmol/L

- (4) アプガースコア: 生後 1 分 3 点、生後 5 分不明
- (5) 新生児蘇生: 人工呼吸(バググ・マスク、チューブ・バググ)、気管挿管
- (6) 診断等:

出生当日 新生児仮死の診断、手足の反るような動きあり
血液検査で白血球 31360/ μL
生後 5 時間、体温 38.3°C

- (7) 頭部画像所見:

生後 6 日 頭部 CT にて低酸素・虚血を呈した所見(中心溝・大脳基底核・視床における信号異常)を認める

6) 診療体制等に関する情報

- (1) 施設区分: 病院
- (2) 関わった医療スタッフの数
医師: 産科医 2 名、小児科医 1 名、麻酔科医 1 名
看護スタッフ: 助産師 3 名

2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、分娩経過中に生じた胎児低酸素・酸血症であると考ええる。
- (2) 胎児低酸素・酸血症の原因は、臍帯圧迫に伴う臍帯血流障害により胎児が低酸素の状態となり、子宮底圧迫法および吸引分娩により低酸素の状態が急激に進行したことであると考ええる。
- (3) 子宮内感染が脳性麻痺発症の増悪因子となった可能性がある。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

- (1) 妊娠 40 週 1 日の受診後の対応(内診、分娩監視装置装着、バیتالサイン測定、陣痛開始のため入院としたこと)は一般的である。

- (2) 妊娠 40 週 1 日の入院後より、間欠的に分娩監視装置を装着し経過観察したことは一般的である。
- (3) 妊娠 40 週 2 日の 3 時 19 分に高度徐脈が認められた状態で、子宮底圧迫法を併用した吸引分娩を 3 回断続的に行ったことは一般的である。
- (4) 子宮底圧迫法を併用した吸引分娩を 3 回実施した後に、児頭下降みられるが児娩出せず、胎児機能不全の診断で緊急帝王切開を決定したことは一般的である。
- (5) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。
- (6) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

3) 新生児経過

- (1) 新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管、チューブ・バッグによる人工呼吸)は一般的である。
- (2) 全身状態管理のため当該分娩機関 NICU に入室管理としたことは一般的である。

4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

B 群溶血性連鎖球菌 (GBS) スクリーニングは妊娠 35 週から 37 週に実施することが望まれる。

【解説】「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2017」では、妊娠 35 週から 37 週での実施を推奨している。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

国・地方自治体に対して、妊娠中の B 群溶血性連鎖球菌スクリーニングを、「産婦人科診療ガイドライン」で推奨する時期に公的補助下に一律に実施できる制度を構築するよう働きかけることが望まれる。

【解説】「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2017」では、膺分泌物培養検査 (GBS スクリーニング) を妊娠 35 週から 37 週に実施することを推奨し

ているが、検査費用の公的補助制度によって同時期の実施が難しい地域がある。

(2) 国・地方自治体に対して
なし。